



「医療専攻」たより

新潟県立小出高等学校 進路指導部
Vol.1 令和5年5月17日

4月28日（金）に、「医療専攻開講式」「医療講演会」が行われ、本格的に今年度の「医療専攻」の活動がスタートしました。今年度の2年生医療専攻選択者は17名です。協力していただく医療機関や医療従事者の皆様への感謝を忘れず、盛り多い一年にしましょう。

医療専攻開講式

魚沼市立小出病院 院長 布施 克也様のご臨席のもと、医療専攻開講式を行いました。開講式は、南方校長の激励の言葉から始まりました。医療専攻が設置された背景などの話がありました。生徒たちは南方校長の言葉を受け、医療専攻の意義を再確認し、今後の活動に向けて決意を新たにしていました。

医療講演会 テーマ「医療人を目指す皆さんへ」 魚沼市立小出病院 院長 布施 克也 様



「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」講演会はこの憲法25条・生存権からはじまりました。

「医療者はいかなる場面においても、生命・人格・尊厳が守られることを判断および行動の基本とし、自己決定を尊重し、そのための情報提供と決定の機会の保障に努めるとともに、つねに温かな人間的配慮を持って対応する。」「生活の場にいる地元の間が専門技術を身に付け、困っている人を支えなければなりません。」「患者さんのためと言いながら、自分の考えを押し付けてしまう。このような考えに陥ってしまいがち。」「このような言葉を布施先生からいただきました。医療を職業として選ぶことの意義を考えさせていただきました。

医療者の想いとして15の「医療者の倫理綱領」をお話していただきました。紹介します。

- 1 **医療者は生命・尊厳・権利を尊重する**－医療の人間は、患者さんの心に刺さった「串」を取り除きたいと願う人たちである。命の最期を迎えつつある患者さんにできることは、そばにいて、最期まで「存在」を肯定し続けること。
- 2 **医療者は差別しない**－人の命の重さには差がない。「どちらの生命のほうに危機にさらされているか」が医療の判断基準。
- 3 **医療は信頼に応える**－医療人は「信頼されている」という強い責任感のもと行動する。
- 4 **医療者は自己決定権を尊重する**－医療人は、患者さんの判断や選択が、その人にとって最良のものとなるように支援する。
- 5 **医療者は秘密を守る**－医療者が最も大切にしている価値は「信頼」。それを裏切らない。
- 6 **医療者は患者の安全を守る**－医療者は患者さんの生命や尊厳が脅かされないよう、正義の味方となって行動する。
- 7 **医療者は法的責任の下で活動する**－医療者が実践する業務は法的に規定されており、逸脱してはならない。
- 8 **医療者は学び続ける**－専門職としての研鑽に励み、日進月歩の技術を現場で活用するため、常に学び続けなければならない。

- 9 **医療者は協働する**－医療者は協働する他専門職と対等な関係で、連携し、**One Team**を作りあげる。
- 10 **医療者は自律する**－医療者は権威におもねることはない。自律性（オートノミー）を持っている。
- 11 **医療者は研究する**－医療人は現場で得た知識や技術を発信し、評価をもらう。一人ひとりが研究者である。
- 12 **医療人は自身の健康を守る**－他人のために働くためには、自分自身の心と身体が健康でなければならない。自分の健康を守ることは医療者の義務である。
- 13 **医療人はスマートな社会人になる**－医療者は信頼されるよう、個人の品行を高く維持する。
- 14 **医療人は安全な環境づくりを目指す**－医療人は人々の健康を保持増進し、疾病を予防する責任を担う。
- 15 **医療人は社会づくりに貢献する**－医療人は社会全体の安心と安全を願う。

夏休みには「サマーセミナー」が実施されます。布施先生からは「小出病院ではさまざまな専門職をもつ医療者がいるが、仕事はなにをやっているのかだけでなく、お互いどうやって協力しているのか。ここに注目してほしい。協力するためには、お互いに敬意を持たなければならない。関係は even である。」とチーム医療としての心構えも教えていただきました。サマーセミナーでは、この点に注目して現場を見てきてほしいです。

質疑応答

○患者さんから信頼される看護師になるにはどうしたらよいのか。どんな看護師なら相談してもらえるのか。

患者さんに安心感をあたえること、自分のことをわかってもらえたという気持ちがあると、心をひらいてもらえる。傾聴、相手のことを受け入れてあげる、そんな心構えを持ってください。「看」は「手」と「目」からできている。安心感は手をあてて目を見つめる。しぜんにできると患者さんは受け入れてくれます。

○ドラマで看護師のいうことをきいてくれない場面をみるが、実際の現場ではどうですか。

言うことを聞いてくれないことはいつもあります。そのようなときは、こどもに接するように話すこともありますし、論理的に説明するような場面もあります。本当に困ったときは感情を遮断して対応することもある。複雑な対応をする場面もあるが、根っこは「あなたの存在を肯定している」これが伝わるように対応する。さきほどと同じです。安心感は手をあてて目を見つめることで伝わります。○看護師も人だから悩んでしまうこともあるのではないかと。その時はどのように対応しているのか。

看護師は感情労働。患者さんが言うことを聞いてくれない、患者さんの深い悩みを聞くと看護師のところが疲れてしまう。しかし、医療の人間はわかっています。チームで支えています。もし、自分が疲れていると感じたら上司にすぐ報告。また、同僚どうしが助けあっています。あるいは組織として、メンタルヘルスチェックを行っています。医療はそれだけ心を消耗する。しかし、やりがいにもつながっています。半面、同僚や組織でチェックして支えて行かなければならないことです。

生徒の感想

- ・看護師は信頼されること、頼りにしてもらうことが大切なんだと改めて思った。信頼、頼りにしてもらえるような看護師になりたいと思った。
- ・医療者は質の良い医療技術を提供するために、チーム医療や日々の学びを大切にしていることがわかりました。医療者の仕事について知らないことがたくさんあることに気が付きました。もっと調べたり聞いたりして知識を深めたいです。
- ・今日から自分が毎日していかなければならないことがわかりました。看護師の皆さんは患者さんのためを思って頑張っています。私も人にために何かできることがあるのではないかと、見つけていきたいと思います。

